【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年10月28日(2021.10.28)

【公開番号】特開2020-28390(P2020-28390A)
【公開日】令和2年2月27日(2020.2.27)
【年通号数】公開・登録公報2020-008
【出願番号】特願2018-155034(P2018-155034)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　8/13　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　8/13

【手続補正書】
【提出日】令和3年8月18日(2021.8.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検体への複数回の光照射により発生した光音響波の受信信号に基づいて生成された、前記複数回の光照射のそれぞれに対応する３次元画像データを含む、時系列の３次元画像データを処理する画像処理装置であって、
前記時系列の３次元画像データに基づいて、前記被検体内の光吸収体の流れ情報を取得する流れ情報取得手段を有する
ことを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
被検体への複数回の光照射により発生した光音響波の受信信号に基づいて生成された、前記複数回の光照射のそれぞれに対応する３次元画像データを含む、時系列の３次元画像データを処理する画像処理方法であって、
前記時系列の３次元画像データに基づいて、前記被検体内の光吸収体の流れ情報を取得する流れ情報取得ステップを有する
ことを特徴とする画像処理方法。
【請求項３】
光パルスを繰り返し照射し、被検体の特定領域における前記被検体の光吸収体分布の３次元画像を実質的に連続的に取得した画像の表示方法であって、一連の連続して取得した画像を、所定の速度で繰り返し再生表示する
ことを特徴とする画像表示方法。
【請求項４】
被検体への複数回の光照射により発生した光音響波の受信信号に基づいて生成された、前記複数回の光照射のそれぞれに対応する３次元画像データを含む、時系列の３次元画像データを処理する画像処理方法をコンピュータに実行させるプログラムであって、
前記画像処理方法は、前記時系列の３次元画像データに基づいて、前記被検体内の光吸収体の流れ情報を取得する流れ情報取得ステップを有する
ことを特徴とするプログラム。